



2018年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年2月2日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 2018年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年6月期第2四半期の連結業績(2017年7月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年6月期第2四半期	13,851	64.4	1,213	65.9	1,249	76.0	699	47.3
2017年6月期第2四半期	8,426	22.9	731	△20.4	710	△20.3	474	△37.2

(注) 包括利益 2018年6月期第2四半期 467百万円(△15.5%) 2017年6月期第2四半期 553百万円(11.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年6月期第2四半期	11.05	10.81
2017年6月期第2四半期	8.20	7.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年6月期第2四半期	19,660	11,556	57.4
2017年6月期	18,141	11,013	59.4

(参考) 自己資本 2018年6月期第2四半期 11,289百万円 2017年6月期 10,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2018年6月期	—	0.00			
2018年6月期(予想)			—	0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年6月期の連結業績予想(2017年7月1日～2018年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	40.8	2,000	36.5	1,900	46.3	1,150	6.9	18.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年6月期2Q	66,000,000株	2017年6月期	65,852,400株
② 期末自己株式数	2018年6月期2Q	2,709,806株	2017年6月期	2,709,806株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年6月期2Q	63,207,459株	2017年6月期2Q	57,850,408株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

2018年6月期第1四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2016年8月3日発表の中期経営計画に基づき、当連結会計年度を選択と集中のフェーズと定め、特にOn Platform事業における収益基盤の確立に注力しております。

・On Platform事業

既存サービスが着実に成長いたしました。また、中期経営計画の達成に向けて新サービスの開発にも取り組んでおり、下期より順次新サービスの提供を予定しております。

・Beauty Service事業

当第2四半期連結累計期間における新規出店はなかったものの各店舗の成長により増収増益となりました。

・Global事業

中国の越境ECが成長したほか、前連結会計年度に子会社化することを決定した海外企業3社の損益計算書を第1四半期連結会計期間より連結したため増収となりました。また、それに伴う3社ののれんの償却により費用が増加いたしました。

・その他事業

第1四半期連結会計期間に実施した営業投資有価証券の売却の影響もあり、大きく増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間（2017年7月1日～2017年12月31日）の業績は次のとおりとなりました。

売上高	13,851百万円	（前年同期比	64.4%増）
営業利益	1,213百万円	（前年同期比	65.9%増）
経常利益	1,249百万円	（前年同期比	76.0%増）
税金等調整前四半期純利益	1,233百万円	（前年同期比	74.7%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	699百万円	（前年同期比	47.3%増）

① On Platform事業

当セグメントには、当社が運営する美容系総合ポータルサイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした各種サービス（BtoB、BtoC）が属しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ブランディング広告やバナー広告、ブランドファンクラブなどの既存のBtoBサービスが特に成長しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	3,645百万円	（前年同期比	9.3%増）
セグメント利益	1,401百万円	（前年同期比	12.5%増）

なお下期にて、BtoBサービスにおきましては、4月より化粧品メーカー向けの新サービスを提供する予定であります。また、BtoCサービスにおきましてもリニューアルを予定しており、積極的なプロモーションは来期以降を想定しております。

② Beauty Service事業

当セグメントには、国内における化粧品ECサイト「@cosme shopping（アットコスメショッピング）」の運営、化粧品専門店「@cosme store（アットコスメストア）」の運営や、プライベートブランドの企画・開発・販売が属しております。

ECにおきましては、「@cosme」でランキング上位の商品の取扱いを強化したことに加え、「@cosme」からの送客の強化を行ったことなどにより売上が好調に推移いたしました。

国内の店舗におきましては、当連結会計年度は出店を抑制し前連結会計年度に出店した店舗の収益化を図るフェーズとしております。そのため、上期においては新規出店を行っておりませんが、各店舗の成長に伴い大きく増収増益となりました。

なお、当第2四半期末の店舗数は24店舗（前年同四半期末20店舗）となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 5,686百万円 (前年同期比 52.6%増)
セグメント利益 261百万円 (前年同期比 248.9%増)

なお、1月には小型店の「@cosme store mikke! グランスタ店(東京駅)」を閉店しており、3月には埼玉に「@cosme store」を2店舗オープンする予定であります。

③ Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するサービスが属しております。

中国における越境ECにおきましては、11月11日のW11※1という季節要因もあり好調に推移いたしました。

昨年5月と6月にオープンした台湾の3店舗におきましては、引き続き、新規顧客およびリピート客の増加に向けて取り組んでおります。

第1四半期連結会計期間より損益計算書の連結を開始した海外企業3社※2におきましては、引き続き、中長期的な事業の成長に向けた取り組みや効率化・合理化を進めております。なお、当第2四半期連結会計期間の3社に対するのれんの償却は94百万円(当第2四半期連結累計期間ののれん償却額:186百万円)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 3,837百万円 (前年同期比 202.9%増)
セグメント利益 53百万円 (前年同期比 52.0%減)

なお、下期には台湾と香港でそれぞれ1店舗をオープンする予定であり、現在準備を進めております。

※1 中国で開催されるECの大規模な安売りセール

※2 下記の3社

- ・Hermo Creative(M)Sdn. Bhd. (マレーシアで化粧品ECサイト「Hermo」を運営)
- ・i-TRUE Communications Inc. (台湾で美容系総合ポータルサイト「UrCosme」を運営)
- ・MUA Inc. (米国で美容系総合ポータルサイト「MakeupAlley」を運営)

④ その他事業

当セグメントには、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、人材派遣事業が着実に成長したほか、第1四半期連結会計期間に実施した投資育成事業における営業投資有価証券の売却の影響もあり、大幅な増収増益となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 684百万円 (前年同期比 606.4%増)
セグメント利益 274百万円 (前年同期比 869.4%増)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,519百万円増加し、19,660百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ895百万円減少し11,672百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が539百万円、商品が393百万円増加したものの、現金及び預金が1,021百万円、営業投資有価証券が437百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,414百万円増加し7,988百万円となりました。これは主に、のれんが1,608百万円、投資有価証券が438百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ977百万円増加し、8,104百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ695百万円増加し5,051百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が77百万円、1年内返済予定の長期借入金が314百万円、未払法人税等が229百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ281百万円増加し、3,053百万円となりました。これは主に、長期借入金が282百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ543百万円増加し11,556百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が378百万円減少したものの、利益剰余金が751百万円、為替換算調整勘定が120百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2017年8月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,169	5,148
受取手形及び売掛金	2,282	2,821
商品	1,584	1,977
営業投資有価証券	1,629	1,192
その他	915	547
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	12,567	11,672
固定資産		
有形固定資産	824	812
無形固定資産		
のれん	2,135	3,743
ソフトウェア	1,180	1,046
その他	116	616
無形固定資産合計	3,431	5,405
投資その他の資産		
投資有価証券	471	909
その他	848	862
投資その他の資産合計	1,320	1,771
固定資産合計	5,574	7,988
資産合計	18,141	19,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,258	1,335
1年内返済予定の長期借入金	1,162	1,476
未払法人税等	326	555
賞与引当金	173	200
その他	1,436	1,485
流動負債合計	4,356	5,051
固定負債		
長期借入金	2,756	3,038
その他	16	15
固定負債合計	2,772	3,053
負債合計	7,127	8,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,482	3,494
資本剰余金	3,417	3,429
利益剰余金	3,535	4,285
自己株式	△281	△281
株主資本合計	10,153	10,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546	168
為替換算調整勘定	74	193
その他の包括利益累計額合計	620	361
新株予約権	75	81
非支配株主持分	165	187
純資産合計	11,013	11,556
負債純資産合計	18,141	19,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,426	13,851
売上原価	3,805	7,097
売上総利益	4,621	6,754
販売費及び一般管理費	3,890	5,541
営業利益	731	1,213
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	14	22
投資事業組合運用益	1	5
持分法による投資利益	—	3
その他	4	12
営業外収益合計	19	43
営業外費用		
支払利息	6	7
持分法による投資損失	32	—
その他	1	0
営業外費用合計	40	7
経常利益	710	1,249
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
減損損失	—	14
その他	2	2
特別損失合計	4	16
税金等調整前四半期純利益	706	1,233
法人税等	229	508
四半期純利益	477	726
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	474	699

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2016年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)
四半期純利益	477	726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△306
為替換算調整勘定	64	120
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△71
その他の包括利益合計	76	△258
四半期包括利益	553	467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551	434
非支配株主に係る四半期包括利益	2	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2016年7月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	3,335	3,727	1,267	97	8,426	—	8,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	1	20	17	43	△43	—
計	3,340	3,728	1,287	114	8,469	△43	8,426
セグメント利益	1,245	75	111	28	1,459	△728	731

(注) 1. セグメント利益の調整額△728百万円は、セグメント間取引消去4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△731百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において株式会社Eat Smartの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが77百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	3,645	5,686	3,837	684	13,851	-	13,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	28	18	4	60	△60	-
計	3,655	5,714	3,855	688	13,912	△60	13,851
セグメント利益	1,401	261	53	274	1,989	△776	1,213

(注) 1. セグメント利益の調整額△776百万円は、セグメント間取引消去5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△781百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Beauty Service事業」セグメントにおいて、退店予定の1店舗について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において14百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間においてMUA Inc.の株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「Global事業」セグメントにおいてのれんが1,692百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。